

イースタン大学
アジア共同体形成への道
実施期間：2016年1月～4月

1月18日（第1週）：序論—アジア共同体形成の論理的背景

- 経済的利点、● 社会的福利、● 文化交流、● 地域の安定、● 地域資源の極大活用
- 追跡指標開発（事業環境、事業活動の自由、貧困削減、社会福祉、教育水準/質、政治活動の自由等の指標）

1月25日（第2週）：アジア共同体形成のための地域協力

— アジアにおける日本の協力事例—

佐藤正文（招聘教授、嘉悦大学、日本）

2月01日（第3週）：アジア共同体の発展

鄭俊坤（首席研究員、ワンアジア財団）

2月08日（第4週）：タイにとってのASEAN経済共同体（AEC）

Ms. Porn-anong Niyomka Horikawa（副学長、泰日工業大学（TNI））

2月15日（第5週）：インドネシアとASEAN経済共同体（AEC）

Dr. Eko Cahyono（開発担当大統領顧問、Darma Persada 大学、インドネシア）

2月22日（第6週）：諸経済同盟の研究；EU、ASEAN、SAARC（南アジア地域協力連合）その他

- 諸経済同盟の紹介と議論、● 成功/失敗の分野、● 賛否の議論、● 成功のための最重要事項の整理

2月29日（第7週）：中間試験

3月07日（第8週）：死活的投資のためのアジア共同体資金

- 加盟国内投資手段の創設、● 加盟国間合同株式上場、債券取引の利点
- 共同体内合同研究と研究協力のための共通基金、● インフラ構造開発、● 通信網技術の開発

3月14日（第9週）：アジア経済共同体への道

- 加盟諸国の規制制度の通用度検討、
- 重要市場の特定と設立；綿、糸、農産物（コムギ、米、砂糖）カーボン（燃料）、産業用金属、稀少金属、通貨など、● 規制枠組みの議論と設定、● 港湾その他インフラ（陸上輸送網を含む）の建設、● 情報網バックボーンの建設

3月21日（第10週）：広汎な社会的・文化的統合への道

- 文化交流のための異文化間組織の推進、● 学者の交流、企業幹部の交流による経験共有
- 観光、書籍翻訳、展覧会などによる文学、創造的芸術、美術の振興

3月28日（第11週）：識創造のための協力推進への道

- 質の高い教育と研究活動展開のための共通基金の設立、● 地域住民への研究成果の最大還元
- （加盟国のサバティカル制度などを利用した）学者交歓、共同研究、相互留学制度

4月04日（第12週）：最終的なアジア経済共同体への道（インフラ構造関連）

- 社会・文化統合戦略、● 陸上ハイウェイによる諸国連結戦略、● アジア情報ハイウェイ戦略（ネット活用）
- 人的社会的資本の構築、技能、雇用創造、地域の緊急及び長期間問題対処の戦略、● 国際規格と国際慣行

4月13日（第13週）：アジア共同体のビジョン

佐藤洋治（理事長、ワンアジア財団）

4月18日（第14週）：期末試験

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。